



「安全を阻害する要因になっている「知悉度確認による日勤教育」の即刻中止を求める」ための緊急申し入れを行う！

地本は、申3号「『安全を阻害する要因になっている「知悉度確認による日勤教育」の即刻中止を求める』ための緊急申し入れ」を会社に提出しました。

安全は経営のトッププライオリティという経営指針のもと、安全・安定輸送の実現に向け日々、業務を行っています。このような中、2022年度に2件報告を要する事象が千葉支社管内で発生しました。これらは共通して乗務員の取扱いに関する知識不足が発生要因の一つであるということから、2023年5月より運転士を対象に事故・事象が発生する前に弱点を見つけ、フォローすることを目的とした知悉度確認が定期的に行われるようになりました。

ここまでは安全性を高める観点からしても一定の理解はするものの、基本的に点数や間違えた箇所等の非公開という実施目的からしても乖離した実態と、同僚や職場の平均点等もわからないなか、点数が低いことを理由に日勤教育の対象とされ、殆どの職場で強制的に2日間程度実施されています。しかし、職場からは、「日勤教育に指定されたことが原因で病欠になってしまった社員がいる」「指定されたことで管理者から励ましを受け、何か事象を起こした気持ちにさせられた」「なぜ自分が対象になったのかという意見に対し曖昧な回答で納得感がなく自分のキャリアが否定されている」「フォローを行うのならば日勤は必要ない」といった、日勤教育に対する怒りや不満の声が報告されています。この様な状況では、安全で安心して働くことは出来ません。また、知悉度確認で弱点が見つかった後もフォローまでの期間が空くことや間違えた内容とは関係のない教育が行われているという報告があることからしても、日勤教育については必要ないと言わざるをえません。

地本は、安全性を高めるために知悉度確認を実施し、弱点を見つけ克服することで事故を未然に防ぎ、安全で安心して働ける職場環境をつくり出すことに反対はしていません。しかし現実には、差別感やモチベーションの低下を招き、心身状況に悪影響を与え、安全を阻害する要因となっている日勤教育の即刻中止を求めるため、緊急に申し入れを行いました。

【申し入れ項目】

1. 全乗務員職場の運転士に対する知悉度確認による日勤教育については、差別感や劣等感だけでなく、心身に異常をきたす社員やモチベーションの低下、安全文化の更なる進化の弊害に繋がっていることから、即刻中止すること。

「安全」を阻害する日勤教育を即刻中止し、安全で安心して働ける労働環境を取り戻そう！